

令和5年度第1回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和5年5月26日（金）午前10時00分～午前11時00分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員（5名）

伊 藤 由美子（委員長）

藤 田 素 弘（副委員長）

赤 木 邦 男

小 寺 直 美

山 下 亨

事務局（7名）

高 橋 潔（総務部 部長）

大 原 満千子（総務部 契約監理課 課長）

種 村 悟（総務部 契約監理課 主幹）

長谷川 安 成（総務部 契約監理課 課長補佐兼検査指導係長）

松 本 浩 二（総務部 契約監理課 課長補佐兼契約調達係長）

満 仲 弘（上下水道部 企画総務課 課長）

中 川 裕 美（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事等担当課（5名）

小 林 信 幸（都市整備部 土木課 課長）

小 林 伸 行（都市整備部 土木課 課長補佐兼建設係長）

伊 藤 尚 樹（都市整備部 土木課 企画調整係長）

津 吉 歌奈子（都市整備部 都市管理課 建築営繕室 室長）

西 脇 聖 二（都市整備部 都市管理課 建築営繕室 主査）

事 項

1 開 会

【事務局】

おはようございます。

では定刻より少し早いですが、委員の皆様が全員揃われましたので、ここで令和5年度第1回入札監視委員会を開催させていただきます。

本日はご多忙の中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

着座にて失礼いたします。

最初に総務部長からご挨拶を申し上げます。

【総務部長】

皆さん改めましておはようございます。

本日、今年度第1回目の入札監視委員会を開催させていただきましたところ、お忙しい中、委員の皆様にはご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また、本年5月から新たな委員の任期ということで、皆さん、昨年度までに引き続き、委員の職をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。

今後2年間、引き続きよろしくお願いしたいと思います。

先月20日の日に委員長の方から、代表してこの監視委員会の意見ということで市長の方にご提出をいただきました。

本来ですと、委員の皆さんと一緒に市長に提出いただくところですが、コロナ禍の影響で、前回と今回と、ということで委員長さんに代表してご提出をいただいたというようなことです。今期の終わりには、ぜひとも皆さん揃って意見を市長の方に出していただけるようにというふうに思っております。

今、市内で認定こども園の関係で、大変、ニュース等でも取り上げられるほど、世間を少し騒がしておりますけども、この問題も、なかなか内部で変えていく、変わっていく、当たり前になっていることがなかなかこう変えられない。

今の現状も、組織の中で外部の目を入れるというようなことがなかなかできなくて、市の方で第三者委員会を設置して、原因究明、また今後の対応策等について外部の方からご意見を頂戴しながら、この問題にあたっていこうということで、市の方でも進めさせていただいております。

これと同じように入札制度も、なかなか内部でこの公平公正、透明性を担保していくというのが、ややもすると、慣れる、慣れて事務を扱っていくというところから、この外部の委員の皆さんに、監視委員会の方でしっかりとご意見を頂戴しながら、より透明性の高い入札制度に移行していきたいという風に思います。

今年からこの委員会のあり方についても、この後少し事務局の方から説明させていただきますが、委員の皆さんのご意見もいただきながら、少し開催の仕方も変えていきたいなというふうに思っております。

その結果、皆さんから多くの忌憚のないご意見をいただきながら、この任期中の監視委員会の皆さんの意見として取りまとめをさせていただければというふうに思いますのでよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、年度初め冒頭のご挨拶ということで、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

本日の議事につきましては、お手元の事項書に基づき進めさせていただきますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、桑名市入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立していますことをご報告申し上げます。

次に、議事の進行ですが、5月1日付けで改めて委員に就任していただいて初めての委員会となりますので、委員長の選任をしていただくまでは、事務局で進めさせていただきます。

最初は人事案件でございますので、会議は非公開とさせていただきます。

ご了承のほどよろしくお願いいたします。

それでは、委員長、副委員長の選任でございますが、選任につきましては、桑名市入札監視委員会条例第4条第2項の規定により、互選により定めていただくことになっています。

初めに委員長をご選出いただきたいと思いますと思いますが、立候補、またはご意見等がございましたらお願いいたします。

【小寺委員】

事務局一任。

【事務局】

はい、ありがとうございます。

では、事務局一任との意見がありましたので、事務局にご一任いただいてよろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【事務局】

ありがとうございます。

それでは委員長は伊藤委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

異議なし。

【事務局】

では、異議なしということですので、委員長は伊藤委員にお願いいたします。

委員長席への移動をお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございます。

では、伊藤委員長から就任のご挨拶を頂戴したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

委員長を承りました伊藤でございます。これからまた2年間よろしくお願いいたします。

長年、入札監視委員会をさせていただいている中で、やはり時代も変わってきていますし、もともとは多分、談合防止という大きな役割があると思うのですが、現実的にはい

わゆる金額競争の中でシステムも非常に進んできていることから、結果的にくじ引きによる抽選みたいな形になっている中で、そうなると談合そのものというよりも入札制度のあり方、あるいは市と工事業者さんとの関係とかですね、そういったことも含めて考えていかなければいけないのじゃないかなというふうに個人的にですけれども思っています。

先日の意見書の提出をさせていただいた中でも、今日この後お話があると思いますけれども、いわゆる災害対策とか、そういった色んな面の対応策とかも考えていかなきゃいけない部分もあると思います。

いわゆるチェックをする場合、監視をすればいい、ここで指摘をしておいたから責任を果たしたんだということではなく、本来、こういった監視委員なんか居なくたってちゃんとできてく世の中であれば良いと思うんですね。

本当に管理する管理コストばかりかけて、皆さんがなんかこうギスギスしていくようなそういうあり方ではなくて、お互いが相手を思いやれるような社会を作っていく一つの中で、例えば工事業者さんがこういう仕事であればぜひやりたいというようなご提案をいただけるような何かがあれば良いし、市に何かあった場合は積極的に協力できる、そういう風土みたいなものができていくと良いのではないかなと。そういうものを醸成するような何か仕組みというものを考えていく、一つの大きな池に小さな石を投げ込むような話かもしれないけれども、何かちっちゃい変化でもいいから、良い意味の変化をしていく、そういうような委員会になれたらいいなというふうに思っております。

皆さんの色んなご意見が、多分そういった新しい動きを呼ぶことになると思いますので、ぜひご協力の方よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、伊藤委員長に議事進行をしていただきたいと思いますので、宜しくをお願いいたします。

【委員長】

それではまず、副委員長の選任についてですが、ご意見がございましたら、お願いいたします。

《意見等無し》

【委員長】

特にご意見が無いようでしたら、委員長に一任していただいてよろしいでしょうか。

それでは、副委員長は藤田委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしとのことですので、副委員長は藤田委員にお願いいたします。

それでは事項書に従って議事を進めて参りますので、よろしくをお願いいたします。

本日は、傍聴の方は今現在いらっしゃっていないということです。

本日の会議は一般公開となっておりますが、現在、傍聴の事務、希望される方は、お見えになっておりませんので、また途中で傍聴される方がお見えになる可能性もありますので、その時点で傍聴の可否についてお諮りさせていただきたいと思います。

2 議事

(1) 令和5年度入札制度改正について

【委員長】

早速審議に入りたいと思います。

それでは、「議事（1）令和5年度入札制度の改正について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

事務局の松本です。着座にて説明させていただきます。

それでは、「（1）令和5年度入札制度改正について」説明いたします。

資料の1ページをご覧ください。

令和5年度4月1日から建設工事において、過度な低入札価格による労働条件の悪化、下請け業者へのしわ寄せ、工事品質の低下、工事施工の安全対策の不徹底、ひいては建設業における若年入職者の減少の原因などに繋がるダンピング受注を防止するため、最低制限価格の基準となる価格及び低入札価格調査制度における調査基準価格の算定式の改正を行いました。

算定式につきましては、三重県の算定式に習い、それぞれ資料の表の通り改正いたしました。

太字になっている所がその改正部分ですが、主に一般管理費等が0.65から0.75、機器単体費、もしくは機器費が、0.907から0.92に上げられております。

これによりまして設計内容にもよりますが、最低制限価格の基準となる価格及び低入札価格調査制度における調査基準価格が1.2から2.1%の上昇を見込んでおります。

続きまして、最下段の2番、測量、建設コンサルタント等業務における調査基準価格の運用の対照表についてですが、積算基準において、権利調査の業務の算定が用地調査業務から測量業務として変更されることに伴い、桑名市においてもそのように同様に改正いたしました。

説明については以上でございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【委員長】

ただいまの説明についてご質問、ご意見はございませんか。

なお、議事録作成の関係もありますので、ご発言の際は必ずマイクを使用していただきま

すようお願いします。

いかがでしょうか。

【委員長】

それでは私の方から一つ。

2番の測量建設コンサルタント業務に関して、権利調査を含むというふうに変更されたというふうにあるのですが、今までは入っていなかったということでしょうか。

それが入っていなかったことによる、何かこのように入れていかなければならないというふうに考えられる理由を教えてください。

【事務局】

松本です。説明させていただきます。

権利調査の算定式は、もともと用地調査業務の方に入っておりまして、それから測量業務の方に移動するという形になりましたので、そのようになっております。もともと計算式自体には含まれております。

【委員長】

ありがとうございます。

他に質問等ありますでしょうか。

【副委員長】

三重県のものに準ずるというお話で、材料費の高騰とか、一時的なそういう値上がりに対するものというのはどこかで考慮されるのでしょうか。

【事務局】

お答え申し上げます。

今回、資料の通り一般管理費というようなところで最低制限価格の率として、0.65 から0.75 に上がったというのがあります。が、まず、それぞれの物価というか単価自体は、やはり上がっている傾向にありますので、設計の単価というようなところでは。やはり材料費の高騰というのは加味した上で、最低制限価格でも少し率を上乗せしたということになっておりますのでよろしく願いいたします。

【委員長】

よろしいでしょうか。

【副委員長】

はい。

【委員長】

ありがとうございます。

他の方いかがでしょうか。

(2) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

無ければ、「議事（２）入札及び契約手続きの運用状況について」事務局から報告をお願いします。

【事務局】

それでは、「入札及び契約の手続きの運用状況について」説明いたします。

資料の２ページをご覧ください。

指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります、令和５年１月から令和５年３月の３ヶ月の間に指名停止を講じた件数は６件です。

この６件は三重県が実施した指名停止に合わせまして、桑名市も同様の措置を講じたところでございます。

２番の談合情報でございますが、対象期間に寄せられた情報はございませんでした。

説明は以上でございます。

【委員長】

ただいまの報告について、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

では、無いようでしたら次に進ませていただきます。

（３）抽出事案の審議について

【委員長】

続きまして、（３）抽出事案の審議に移ります。

審議に先立ちまして、抽出案件３件について説明を得るため、入札監視委員会条例第６条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますがいかがでしょうか。

それでは関係者の出席を求めます。

【委員長】

審議にあたり、今回の３点の抽出理由について藤田副委員長から説明をお願いします。

【副委員長】

はい。

ここに書いてあるような内容ですが、工事内容と入札方法が色々あるのですが、１番が、応札業者の中で失格が多かった。２番が、発注金額が高額であった。３番は、コンサルの業務であったという理由になります。

以上です。

【委員長】

はい、ありがとうございました。

抽出事案 1 総合運動公園クラブハウス受水槽改修工事

【委員長】

それでは、第1案件「総合運動公園クラブハウス受水槽改修工事」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【都市管理課】

おはようございます。

都市管理課建築営繕室の津吉といいます。よろしくお願いします。

お手元の概要書に沿って説明させていただきます。

件名は、総合運動公園クラブハウス受水槽改修工事。

履行場所は、桑名市大字西方奥新田 2223 番地地内。

履行期間は、令和5年3月7日から令和5年12月1日まで。

予算額 16,229,400 円に対して、設計金額 15,667,300 円となっております。

工事の概要といたしましては、受水槽及び加圧給水装置を撤去し、新設する工事となっております。

受水槽はFRP製で、サイズは、3メートル×3メートル×高さ2メートル。

加圧給水装置用のポンプ室のサイズは、3メートル×2メートル×高さ2メートルであり、取り替えに伴う配管工事及び電気設備工事一式になります。

以上が工事概要になります。

よろしくお願いします。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の8ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、管工事業の特定または一般許可業者であること。

所在地を市内までとし、経審点数は450点以上、発注業種の完成工事高は予定価格の2分の1以上であることとします。

技術者要件としては、現場代理人と主任技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、9ページをご覧ください。

令和5年2月22日に開札を行いましたところ、3者から応札があり、2社が最低制限価格を下回ったため失格となり、残った1者である株式会社カキトの入札価格は、最低制限価格以上で予定価格の範囲内であったため、当該業者を落札候補者としてしました。

入札参加資格を審査した結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き

13,170,000円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。

ご審議のほどよろしく願いいたします。

【委員長】

ただいまの説明について、ご質問、ご意見ございませんか。

【副委員長】

この案件は2件の失格が出ていまして、この受水槽というのは、いつもは割と最低制限価格にピタッと合わせた形で出てきているように思うのですが、失格が出るというのは、ソフトでは出せない何かあるのでしょうか。どんな原因が考えられますか。

【都市管理課】

はい、お答えします。

2者失格が出ているということなのですが、積算自体はソフトは使っていないくて、エクセルツールで設計書を作成しております。

今回2者失格が出てしまった理由として考えられる点ですが、今回取りかえる予定の受水槽ですとか加圧給水設備の機器費については、建設物価本などの単行本を使ってはいなくて、メーカーの見積もりをもとに算定しておりまして、そういった理由で応札業者さんの積算した価格と誤差が生じてしまったのが原因ではないかと想定しております。

【副委員長】

受水槽自体はメーカーによって違うのでしょうか。どの工事業者がやっても、その設計図面通りいくわけではなくて、メーカーによって何か物が違うってということですか。

【都市管理課】

メーカーによってサイズは同じものはあるのですが、価格自体はメーカーさんによってそれぞれ異なっています。

【副委員長】

今回、最低制限価格はどうやって決められたのですか。

【都市管理課】

最低制限価格は算定式がございまして、そちらをもとに直接工事費ですとか共通仮設費ですとかそういった辺りに係数を掛けて具体的に算出するような形になっております。

【副委員長】

はいわかりました。

【委員長】

はい、ありがとうございます。

他にご意見、ご質問ございませんでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

これに関しては、特に問題無しということでよろしかったでしょうか。

《全委員了承》

【委員長】

はい、それではこれに関しては終わります。

抽出事案 2 市道稗田4号線道路修繕工事

【委員長】

続きまして、第2案件「市道稗田4号線道路修繕工事」について、発注担当課から委託概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【土木課】

はい、土木課の小林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

では、概要書に沿ってご説明させていただきます。

土木課が発注している今回の工事、件名といたしまして、「市道稗田4号線道路修繕工事」でございます。

履行場所につきましては、桑名市大字稗田地内でございます。次のページに位置図がございます。丸で囲った所が範囲となりまして、東西、ちょっと黒く塗ってあるところが当該路線でございます。

概要書に戻りまして、履行期間は、令和5年1月24日から令和5年3月31日までとしております。

予算額につきましては、25,000,000円。設計額22,111,100円でございます。

工事の概要につきましては、この市道稗田4号線において、老朽化した側溝の排水能力の改善や、地域の課題など、利用者の安全を確保するための道路修繕工事でございます。

主な工事の内容といたしましては、施工延長が234.5メートルの区間で、排水構造物の各種側溝を約320メートル、アスファルト舗装や張りコンクリートなどによる復旧を行う工事内容でございます。

工事の概要の説明は以上となります。

よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の18ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は土木工事業の特定または一般の許可業者であること、所在地を市内までとし、経審定数は510点以上、発注業種の完成工事高は予定価格2分の1であることとします。

技術者要件としては、現場代理人と主任技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、19 ページをご覧ください。

令和 5 年 1 月 11 日に開札を行いましたところ、7 者から応札があり、2 者が最低制限価格を下回ったため失格となり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で最も低い金額の 3 者が同額であったため、くじびきを行い、その結果、株式会社真栄田サービスが落札候補者に決定し、入札参加資格を審査した結果適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き 18,070,000 円で契約をいたしました。

説明は以上でございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいまの説明について、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。

【副委員長】

工事内容について、通行人の転落防止という話ですが、現状は蓋はしていなかったのを蓋をする工事になっているのでしょうか。

工事の内容で申し訳ないのですが、排水はどこから排水されるのでしょうか。

これも割とぎりぎりのところで失格者が出ているのですけれども、これくらいは誤差みたいなものなのですかね。

最低制限価格があまり下げられなというのはあるのですが、修繕とかそういうもので最低制限価格が下げられる場合もないのかなとか思うのですが、最近の状況ではあんまり、働き方改革とか賃金上げとか、あんまり最低制限価格は上げない方が良くもしいないけど。

先ほどもありましたけど、最低制限価格を計算する考え方を教えてください。

【土木課】

土木課の小林です。

まず工事の内容につきまして、2 点ご回答させていただきます。

まず 1 点目は、転落防止のものが当初からあったのかということですが、当初からはなかったんです。で、この道路の側溝工事をする際に新たな側溝をして、通行する際に若干道が広くなったような感じに見える形状になりますので、万が一、車とか通る際、今までとちょっと違う風景になって、思わず脱輪してしまうという危険性もちょっと考えられましたことから、安全を見て、一部分、危険と思われる所だけ転落防止柵を新規に設置いたしました。

続いてもう 1 点、排水の流れる方向ですが、こちらの位置図で見いただきますと、左から右側に向かって流れていきます。ちょうど黒く塗りつぶした工事の右側の最終地点ですが、そこから南、下側に向かって県が管理する員弁川の方に排水するという流れになってございます。

工事の説明は以上でございます。

【副委員長】

流れるのはそちらの方に流れるのですけども、蓋を置いて水が側溝に落ちる所というのが割と狭い隙間みたいなので流しているのでしょうか。

最近割と側溝の蓋がどこにあるのか分からないような感じで施工されているような、埋設型の側溝みたいなのがあるような気がするのですが、前から気になっているのでついにお聞きしたいなと思ひまして。これは普通に蓋を置くような感じのタイプなのですか。

【土木課】

はい、よく市内に見かけます、白い色のコンクリート製の側溝になっておりまして、最近、側溝の蓋の部分が周りの舗装と同じような色になっていたりとかっていう製品もございまして、景観を統一させるという製品だと認識してございます。

【副委員長】

はい、わかりました。

【事務局】

最低制限価格の考え方というご質問も承っていたと思うので、回答申し上げます。

最低制限価格というのは、過度な低入札価格での受注による品質低下を防止するためという目的は当然でございます。

本市としましては、全国の基準から地域の事情を加味した上で、三重県が扱っている最低制限価格を準用して、三重県モデルを採用しているところでございます。

また、市内業者の方も県の発注する工事を受注している関係もございまして、最低制限価格は、合わせた上での運用が有効であるということで採用しているところです。

以上でございます。

【副委員長】

では、大体の計算式は業者も分かっているのですけど、この価格自体は業者分からない。

計算式は大体は分かっている、結構誤差が出るみたいな感じなのではないでしょうか。

【土木課】

土木課の小林と申します。

設計をする上で、各業者から一般的に流通している物価版、図書があるんですけども、そこに載っていないものとかは色んなところから見積もりを取って、平均単価をとって、反映させていただいたり、そういったもので行っております。

ほとんど側溝工事っていうのは、一般的に業者さんも結構知り得ている情報かと思いますが、今回失格になったというのは、誤差の範囲なのかなとは思っています。詳細は分かりませんが、申し訳ございません。

以上でございます。

【委員長】

他、ご意見、ご質問等いかがでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

無いようでしたら、この案件についても問題なしというところでよろしいでしょうか。

《異議無し》

抽出事案 3 橋梁法定点検業務委託

【委員長】

では、次に第3案件「橋梁等法定点検業務委託」について発注担当課から委託概要の説明をいただき、その後、事務局から発注公告の内容と、入札経過について説明をお願いします。

【土木課】

引き続き、土木課からご説明させていただきます。

件名、「橋梁等法定点検業務委託」でございます。

履行場所は、桑名市内一円でございます。

履行期間につきましては、令和5年1月24日から令和5年3月15日までとしております。

予算額につきましては、3,500,000円。設計額は、3,032,700円でございます。

委託の業務概要につきましては、橋梁の長寿命化や修繕架け替えにかかる費用の縮減をするために、定期的な点検が必要でございますことから、この法定点検は5年以内の実施が求められております。そこで今回、15メートル未満の橋梁17橋を点検する業務を発注させていただきました。

主な業務の説明は以上でございます。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札結果についてご説明いたします。

資料の22ページをご覧ください。

入札参加資格要件につきましては、建設コンサルタント登録規程による鋼構造及びコンクリートの部門登録のある業者であること。

所在地要件は県内までとし、技術者要件として管理技術者及び照査技術者の配置を求め、技術者の兼任は不可とします。

同種業務履行実績は、平成19年度以降、官公庁が発注した案件で、橋梁点検診断業務の履行実績を有することとし、以上の要件により公告いたしました。

次に入札の経過及び結果でございますが、23ページをご覧ください。

令和5年1月11日に開札を行いましたところ、13社から応札があり、最低制限価格以上かつ予定価格以内で13社が同額で入札したため、くじ引きにより株式会社信榮企画を落札候補者としました。

その後、事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者に決定し、税抜き2,270,000円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。

ご審議のほどよろしく願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それではこの案件に関しまして、ご意見、ご質問等お願いしたいと思います。

【委員長】

いかがでしょうか。

【小寺委員】

入札参加要件ですが、県内まで今回範囲を広げていたという何か理由があったら教えてください。

【土木課】

土木課の小林です。

発注に当たりまして、コンサル業務の地域要件では、市内、準市内で、これが 250 万円以上 500 万円未満になっておりますが、河川や砂防及び海岸、道路、下水道部門以外につきましては県内までとするということになっておりますことから、今回の案件につきましては、鋼構造物の内容となりますので、県内までに引き上げる要件となっております。

以上でございます。

【小寺委員】

ありがとうございます。

【委員長】

これに関して私の方から。

いわゆる入札可能な業者数というのは、市内、準市内、県内でそれぞれ何者ぐらいあったのでしょうか。

【土木課】

土木課建設係の小林と申しますよろしくお願いいたします。

鋼構造及びコンクリートの資格を持っている業者を、今年の 1 月現在でのしか調べてないのですが、市内は 0 者です。準市内は 22 者、県内に伸ばすと 158 者となっております。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

他に、ご質問、ご意見等はいかがでしょう。

【委員長】

それではまた私の方から。

21 ページの位置図で、枠の中にあるその中の 15 メートル未満の小さい橋ということによってあったのでしょうか。

【土木課】

21 ページに書いてあります斜線で黒く引っ張ってあるところですが、ここが桑名市内の全域になります。

その中の、今回、先ほど説明がありましたように、5年に1度の定期点検を計画しておりますので、今回のこの案件につきましては、この中の15メートル未満の橋梁17橋を計画しております。

以上です。

【委員長】

ありがとうございます。

これは、1月24日から3月の15日までの50日間ぐらいですか。

50日間ぐらいで17の橋を全部点検し、点検調書を作成し、評価を出すということで、業務は全然私が把握しておりませんが、いわゆるコンサル業務をやっている方だったら、これは別に通常可能な日程ということでよろしかったでしょうか。

【土木課】

問題ないと思われます。

【委員長】

はい、わかりました。ありがとうございます。

他に何かご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

【副委員長】

これだけたくさん応札されたというのは、この業務が取りやすいというか、やりやすいからということでしょうか。

どんな理由を考えられますか。

【土木課】

土木課小林です。

今回応札者が多かったのは、今回発注した点検の橋梁の数が17橋と少なかったこともありますので、短期間で履行が完了するということもあって、業者の方達も取りやすかったのかなと。すぐ終わる橋梁点検ですので、利益も上がるのかなと思われます。

以上でございます。

【副委員長】

ということは、業務によってはもっとたくさん一度に出すことがあるということですか。

【土木課】

はい、以前には100橋とか、大きくまとめて出すこともございます。

今回は、他の発注している業務もある中で予算の範囲の中で、調整しながら発注しておりますことから17橋とこの発注業務は少な目となっております。

以上です。

【委員長】

ありがとうございます。よろしいですか。

【副委員長】

はい。

【委員長】

他にご意見、ご質問等よろしかったでしょうか。

特になければ、これも問題なしとしてよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

それでは、以上をもちまして抽出案件3本の審議を終了いたします。

発注担当課はここで退席してください。ありがとうございました。

《担当課退席》

【委員長】

今回の審議案件の抽出は、順番により赤木委員になりますのでよろしくお願いいたします。

(4) その他

【委員長】

それでは、その他ですが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

それでは、事務局の方から。

【事務局】

本日配布した資料についてですが、ご説明申し上げます。

前回の本委員会におきまして、伊藤委員長の方から、抽出事案の審議を中心とした本委員会のあり方について、このままで良いのか、工夫した方が良いのではないかと含めて、いろいろ審議が必要ではないかというご提案をいただきました。

そこで本委員会のあり方について、他の自治体の審議内容などを確認したところ、入札及び契約の過程、並びに契約の内容に関して抽出事案の審議を行う本委員会との違いはございませんでした。

しかしながらお手元の資料の通り、2年ごとにご提出していただく本委員会意見書の提言に対する取り組みとその評価の項目を対象として、本市入札監視委員会条例第2条第3項にある、入札及び契約の方法の改善に関することについて、調査審議し、意見を述べていただくことは有効であると考えているところです。

本委員会において、毎回、項目1件か2件を対象として、こちらからご説明申し上げた上で、委員の皆様にも率直なご意見をいただければ幸いです。

さらに、この9件の項目以外に追加する新たな取り組むべき改善項目がございましたら、

随時お申し出いただければと思います。

この提案につきましてご了承いただければ、2年後の意見書作成までに全ての項目について本委員会でご意見をいただくように調整を行う予定でございます。

なお、次回の委員会で対象とする項目は、委員長と相談させていただき、資料の事前配布時にはお伝えできればと考えています。

以上、この案につきまして、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【委員長】

ただいまの説明についてご意見ございませんか。

【副委員長】

(8)の働き方改革についてというところなのですが、誰に対する働き方改革なのでしょう。建設業者なのか、役所というのもあると思いますが。

【事務局】

お答え申し上げます。

意見書の方も机上に置かせていただいています。

その意見書の8ページの半分より下の部分になります、働き方改革についてということで、ご質問の対象としましては、受注者ですね、建設業者の方の、ここにも書いてございますが若年層の入職者数が減少しておりということ、また、令和6年度からですが、8ページ一番下にもあります罰則付きの時間外労働の上限規制が適用されるというのが、来年度、令和6年度になりますので、発注者の責務として、適正な工期を取った上での発注が必要になってきます。週休2日制が言われているところで、それを踏まえて適正な発注をするという、働き方改革の一環としては必要になってくるということが課題ですので、それについてもまたご説明申し上げてご意見等いただければと思っております。

以上です。

【副委員長】

ありがとうございます。

【委員長】

はい、他にいかがでしょうか。

一応、こういう話になっていった中で、先だって、いわゆる意見書という形で市長の方に提案をさせていただいた訳なのですが、その審議してきた内容を元に事務局の方でまとめている中で、やはり意見書に提言していく内容について、もう少し委員会の中でも内容を深めていければ良いのではないかなと思ひまして、一つ一つの項目について、この監視委員会の時間を少し使ひまして、皆さんの忌憚のないご意見とかお考えとかを入れて、それが次回の市長への意見書の中に反映されていくと良いかなというふうに思っているわけなのですが、それはまず、私は委員長という立場の中から考えさせていただいたことなのですが、委員の皆さんそれぞれがまた違うお考えをお持ちかもしれませんので、できればこの場で、忌憚のないご意見を発言していただくとありがたいなと思っております。

いかがでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

特に無いようでしたら、これは私のポリシーなのですが、何事もやってみないと分からないと、やらないままで停滞しているのは意味がないと、後退に繋がるという風に考えておりますので、このやり方が良いとか、成果が出る出ないは別として、まず行動につなげていくことが大事ではないかなと思っております。では、特に無いようでしたら、この提案について次回から実施するようにしていきたいと思います。

ただ、やっていく中で、また色んなご意見をいただければ良いかなと思います。

そういうことでよろしいでしょうか。

《全委員了承》

【委員長】

それでは、これにて令和5年度第1回入札監視委員会を終了させていただきます。なお、本日の審議概要は、後日、事務局でまとめていただきたいと思います。

本日はありがとうございました。